



進路ニュース

平成30年PTA総会号
藤代高等学校進路指導部



5月に入り、新入生も学校に慣れ、藤高生として力強く歩み始めたようです。勉強に適したさわやかな季節です。授業や家庭学習の充実をはかってください。特に授業の予習・復習を継続して行いましょう。今回は4月12日に実施した進路希望調査の結果を特集しました。進路希望調査の回答結果をみると、今回も残念ながら、家庭学習時間の不足は解消できていないようです。希望の状況と日々の家庭学習時間とに大きなギャップが見られます。藤高生の今後の奮起に期待します。

1 進路希望状況

進路希望	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
大学	205	85.1%	211	87.2%	204	86.8%	620	86.3%
短大	6	2.5%	4	1.7%	3	1.3%	13	1.8%
専門学校	13	5.4%	8	3.3%	18	7.7%	39	5.4%
就職	1	0.4%	1	0.4%	4	1.7%	6	0.8%
未定	14	5.8%	18	7.4%	3	1.3%	35	4.9%

2 大学・短大希望者の中の国公立・私立の希望

進路希望	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
国公立	60	24.9%	95	39.3%	59	25.1%	214	29.8%
私立	27	11.2%	85	35.1%	131	55.8%	243	33.8%
未定	116	51.4%	35	14.5%	27	7.2%	178	24.8%

3 1年生 藤代高校に入学した理由

理由	男子		女子		1学年計	
通学に便利だから	13	12%	18	14%	31	13%
進学校だから	40	36%	33	25%	73	30%
部活動が盛んだから	25	23%	6	5%	31	13%
学校の雰囲気が好きだから	12	11%	40	31%	52	22%
施設設備が整っているから	0	0%	0	0%	0	0%
親や兄弟が通学した学校だから	1	1%	2	2%	3	1%

☆ 藤高生の希望の進路は国公立大学

進路希望調査の結果をみてみましょう。「3 藤代高校に入学した理由」によると、藤代高校が**進学校だから入学した人が3割**と最多になっています。ここでの進学の意味は「1 進路希望状況」からすると当然、約**9割をしめる大学進学**ということになります。そして「2 大学・短大希望者の中の国公立・私立の希望」の1年生の回答によると**最多は国公立大学**になります。つまり藤高生の**入学当初の進路希望は国公立大学進学**ということになります。

☆ 国公立大学への近道(抜け道?)はあるのか

では藤高生が希望する国公立大学へ合格するための近道はあるのでしょうか? 誰だって楽に合格したいと思いますよね(笑) それでは国公立大学について研究してみましょう。

” 東大の入学定員の30.6%（3063人中938人）、京大の入学定員の33.3%（2866人中955人）が工学部です。東大、京大を目指すなら、工学部が有利と言えます。マンガ『ドラゴン桜』では東大の理科一類（工学部進学者が多数）を狙っていましたが、正しい戦略です。 **国立大学の入学定員の74%が理系です（これは近年の文系縮小前の数字で、今後はさらに上昇）。** ”

これは日本のすべての4年制大学773校を訪ねた山内太地氏の「世界の大学見学記」より抜粋したものです。2015年に書かれたものですから、現在ではもっと割合が上昇しているものと考えられます。狭い上に混雑している道を押し合いへし合い通るよりも、広くて空いている道を通る方が早いことは自明です。つまり国公立大学に入る **抜け道はありませんが広い道はある**ということです。

文系か理系か迷っている人には、迷ったら理系の方が国公立大学には入りやすいと言えます。同じ大学で学部間の偏差値の差があるのかを実際に比較してみましょう。2018年度の進研模試偏差値によると茨城大学の人文社会科学部の偏差値56に対して、工学部は54です。山形大学だと人文社会科学部の偏差値56に対して、工学部の偏差値は53。 **富山大学の人文学部が偏差値58に対して工学部は54**です。概して文系学部と理系学部（医学部とかは別ですよ）を比べると、定員が多くて偏差値が低い＝入学しやすいのが工学部をはじめとする理系学部と言えるのかもしれませんが。

ということで、数学ができないから文系に進むなどということがゆめゆめないように、**1年生のうちからしっかり英数国を学習することが国公立大学への近道であり王道**です。

3 平日の学習時間

学習時間	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ほとんどやってない	25	10%	63	26%	75	32%	163	23%
1時間程度	139	58%	150	62%	93	40%	382	53%
2時間程度	67	28%	27	11%	46	20%	140	19%
3時間程度	10	4%	1	※1%	11	5%	31	4%
4時間程度	0	0%	0	0%	5	2%	5	1%
5時間程度	0	0%	1	※1%	4	2%	4	1%
平均学習時間	70.8分		45.0分		66.2分			

4 休日の学習時間

学習時間	1年		2年		3年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ほとんどやってない	18	8%	45	19%	57	24%	120	17%
1時間程度	78	32%	93	38%	47	20%	218	30%
2時間程度	72	30%	75	31%	61	26%	208	29%
3時間程度	42	17%	19	8%	31	13%	92	13%
4時間程度	21	9%	8	3%	16	7%	45	6%
5時間程度	8	3%	2	1%	13	6%	23	3%
6時間以上	2	1%	0	0%	9	4%	11	2%
平均学習時間	118.8分		81.2分		124.8分			

☆ 国公立大に合格するためには「学年＋2時間」

調査結果によると藤高生の平日学習時間は平均1時間強ですが、国公立大や有名私大などの難関大学の受験に対応するためには、**高校3年間で4000時間**の自主学習が必要といわれます。それだけの学習時間を確保するための1日あたりの学習時間の目安は、「**学年＋2時間**」です。つまり、**1年生で3時間、2年生で4時間、3年生で5時間**ということです。さらに、3月に実施した「合格体験談を聞く会」で先輩方が口を揃えて言っていたのは、**受験生というものは平日6時間、休日13時間**は勉強しているということでした。3年生は1日でも早く、**本物の受験生**になってください。